

## 【巻頭言】

## 年頭のご挨拶

会長 たまだ あきら 玉田 彰 (53回生)



学友会の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたしますと共に今年も引き続き学友会活動にご協力の程お願い申し上げます。

平成 30 年を振り返ってみると、とにかく災害の多い年であったと言えるのではないでしょうか。6 月には大阪で震度 6 弱の地震、7 月には二百数十名もの命を奪った西日本豪雨。さらに 9 月には第 2 室戸台風級の暴風と高波で甚大な被害をもたらした台風 21 号に加え、震度 7 が観測された北海道胆振東部地震。遅ればせながら被害を受けられた会員の方々には心よりお見舞い申し上げます。

いよいよ今年は平成最後の年になります。先日インターネットで目にしたのですが『昭和だと思っていた平成の出来事』なる記事が掲載されていました。私も少し驚いたのですが「ベルリンの壁崩壊」、「任天堂スーパーファミコン発売」、「バブル経済崩壊」、「消費税 3%スタート」、「千代の富士引退と若貴ブーム」、「Jリーグ開幕」等、これらは全て平成初期の出来事だったのです。中でも PHS が販売開始されたのは平成 7 年とのことで、モバイル業界の発展には驚かされるばかりです。一方、当時の我々の世界はと申しますと、CT はヘリカルの全盛期、そして大規模な病院では MRI や CR が導入され始めた頃のようで、現在のデジタル画像診断の主力が顔を揃えた時期ということになります。

さて、昨年の診療放射線技師国家試験の合格者数は 2,237 名で合格率は 75.3% だったそうです。ここで他の職種に目を向けてみると臨床検査技師は 3,828 名、臨床工学士 2,017 名、理学療法士 9,885 名、作業療法士 4,785 名、言語聴覚士 2,531 名、管理栄養士 17,222 名の有資格者が誕生しました。この数字から私が危惧するのは「各職種の就職に関して」です。ここからは私の個人的見解ではありますが、長い歴史を有する診療放射線技師や臨床検査技師に関してはそれなりに定年退職者が発生することと、ここ十年の合格者数もそれほど変わりなく推移していることから雇用バランスは取れているように思われます。しかし、理学療法士の合格者数は十数年前の倍以上となっており、養成施設の急激な増加が大きく影響しているものと示唆されます。また、その他の職種も歴史が浅い割には合格者数が多く、はたして就職先は確保できるのか余計な心配をしてしまいます。圧倒的な合格者数の管理栄養士に至っては、医療業界以外での就職口が多く存在するのでしょうか？もし、私が上記職種の養成施設選択で相談を持ちかけられたら、迷うことなく放射線技師養成施設をお薦めすると思います。

一昨年の 5 月より学友会会長という大役を仰せつかり、各地で開催される支部総会には可能な限り参加させて頂きました。行く先々で感じることは各支部の皆様がとても温かくお迎えくださること。そして何よりも会員相互の親睦を深め学友会の活性化に努めておられる姿です。加えて母校からは遠藤学長や鈴木事務局長を始め多くの先生方に遠方までご足労おかけしております。このように母校が学友会との親密性を重んじて頂いていることには心より感謝いたしますと同時に、私の学友会活動に対する心の支えとなっております。

最後に、今年は学友会が母校に継続創設 100 周年へ向けてのカウントダウンの始まる年となります。6 月に京都で開催予定の総会は、昨年無事に迎えることが出来た学友会創設 90 周年を祝する趣旨で執り行われます。学友会では現在この記念事業を盛大に開催しようと実行委員会が中心となり計画を進めているところです。会員の皆様も奮ってご参加いただくよう早めの日程調整を心掛けさせていただければ幸いです。

皆様方にとって良き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

以上